

第5回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事要録

1 日時 平成27年4月14日(火) 18時30分から20時00分

2 場所 北広島市役所第3庁舎3階 会議室

3 出席状況

NO	氏名	職業等	出欠
1	上原康雄	北広島市観光協会会長、北広島商工会会長	欠
2	山崎悦子	北広島商工会会員(行政書士山崎法務事務所)	出
3	千葉隆一	札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース支配人	欠
4	石塚正敏	札幌北広島クラッセホテル支配人	欠
5	(副座長)川口満久	ホクレン農業協同組合連合会北広島事務所所長	出
6	中村哲	三井アウトレットパーク札幌北広島所長	出
7	(座長)吉岡宏高	札幌国際大学観光学部国際観光学科教授	出
8	三浦麻衣	市民(会社員)	出
9	善甫啓太	市民(会社員)	出
10	吉田智樹	北広島市経済部商業労働課課長	出

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

所属	役職	氏名
経済部商業労働課	主査	山田基

傍聴者

人数
0人

4 議事録

1. 開会

事務局) お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。第5回北広島市都市型観光推進協議会を開催させて頂きたいと思います。

座長) 皆さん今晚は。今回は皆さんのご意見の取り纏め項目が少ない状況でしたので、再度、事務局に見直しいただきました。今日はこれを基に議論していきたいと考えております。

皆さんの意見をふまえて、事務局から資料の説明をしていただき、その上でさらにお話しを進めていけたらなと考えております。

2. 議事

事務局) 資料説明

・資料説明

資料を参考にして説明。

皆さんのご意見から、元々観光資源としてあるもの、或いは観光資源としてなり得るもの、また、広報・PRとしてのものなどに分けられるものとなっていました。そこから、再度、グループ分けの工程を何回か行い、最終的に大項目で6タイトルを付けて資料に纏めております。

カテゴリとしては次のとおり。

一つ目は、「何でも体験、体感できる」

二つ目は、「いつでも楽しめる、どこでも行ける」

三つ目は、「北広島で北海道の良さを味わう」

四つ目は、「家族全員が楽しめる」

五つ目は、「ゆったりした時間を楽しむ」

六つ目は、「温故知新を体感する」

なお、オレンジ色に着色された項目は第3回協議会で皆さんにプランニングしていただいたものです。

備考欄は付属情報として捉えてください。

また、分類が困難なもの「その他」として提供させていただいております。

事務局として現段階として取り纏めしましたが、皆さんのご意見のイメージと違う場合などがございましたら、ご意見をいただきたいと考えております。

座長) 今、事務局から説明いただきました。

今回は3項目として「なんでも楽しむ・体験できるワンストップ北広島」、「どこへでもすぐ行ける北

広島」、「また来たい北広島」という分類に分かれていましたが、もう少し、細かくできないのかといったところがありましたので、再度、見直しいただきました。

今回のカテゴリで、「その他」も別紙で纏めていただきましたが、内容としては、現況の認識としてあったり、また、何かをやるよといった時に、このような体制が必要だといった仕掛けなど、あることを実施するための下支えのようなご意見が纏まっていると思います。

今日は、事務局が纏めた6つのカテゴリについて、お話をして参りたいと思います。

第3回協議会というお話がありましたが、この時はあるコンセプトから何かを考え、何ができるのかといったことを議論いただきました。「発想のタマゴ」といった内容で、あったら良いといった願望としての考え纏めていただきました。

この後は、あったら良いといったレベルから抜け出して、こういったものが北広島市らしくて、戦略的に行っていくべきではないか、といったところに踏み込んでいきたいと思っています。現在はその中間的な素材の段階にきているのではないかと思います。

今日は、資料を事前にお配りしておりますので、ざっくばらんにご意見をいただきたいと思っています。

メンバーの方から事前にご意見があったと伺っております。ご説明いただければと思います。

○事前にいただいた意見の内容説明

事前に事務局にメールをさせていただいたのですが、その際に返信でメールをいただきましたが、その内容が「こうして考えると観光推進というは“まちづくり”ですね。」というコメントが帰ってきました。自分が記述した内容を確認すると、これは観光じゃないなというように思いました。どちらかというに移住促進という切り口となっていました。

それで先ほどの事務局の説明とも重なると思いますが、自分なりに考えたものが4つほどあります。

一つ目は、「趣味を持ちたくなる北広島」。

二つ目は、「自転車に乗りたくなる北広島」。

三つ目は、「やりたい、を叶えてくれる北広島」。

四つ目は、「心身ともに癒される北広島」。

という柱を考えまして、資料にもその理由も述べさせていただいております。

自転車については、事務局の資料にも出ておりますので、重複するのでよろしいと思うのですが、それ以外に観光という観点とどのように結びつければ良いのか。この点がぼやけてきてしまうのですが、北海道の観光を考えた場合、テニスコートが無料で使用できたり、パークゴルフが安価であったり、住民にとって、何かはじめようと考えた場合に、何でもあるという点があります。この点を外部の方にアピールできるのではないかと思います。北広島に住んでみたいと考えるきっかけとなったり、或いは北広島にいつてみようといった観光的な方向に考えられるなど、自分のイメージも定まっておりますが、考えてみました。

私はマンションの9階の住んでおりますが、山の上に建っていることもあり、かなり眺めが良いです。四方を見渡すと芦別岳方面と恵庭岳方面と遠くの山が見えます。石狩平野の正に真ん中に北広島がある

といった存在を感じ、優越感に浸るような思いを感じます。北広島で景色を楽しむようなことは、イメージができない状況ですが、風光明媚なまちといった仕掛けができるのではないのでしょうか。景色に癒され、クラッセホテルのモール泉によって体も癒される。「癒しのまち北広島」のような切り口で宣伝していくのはどうかと思いました。

座長) 有難うございます。良いご意見であったと思います。

○委員からの意見

- 都市型観光を進める上で、今での観光資源という形ではなく、普段、我々が使っているものを利用した観光というものが大事なんだろうと思います。普段使いの観光のようなイメージです。例えば、市内にある公園が観光資源となってしまう。また、生活道路として存在しているトリムコース（自転車歩行者専用道）などが観光に変わっていく。これが都市型観光に結びついていくように感じます。
- レクの森とキャンプ場が施設としては不十分な状況だと思います。オートキャンプ場といったイメージであったり、長沼方面のようなイメージで整備されていくと観光に繋がっていくと思います。
- 例えば、自宅の近くにあるパチンコの施設がオートキャンプ場のように変わった場合、私はパチンコはやらないのですが、恐らく、住みづらい状況になるのではないかと考えてしまいます。観光と定住との共存は中々難しいものだと感じます。
- 観光と定住は表裏一体となっているところがあります。観光の面が強くなると、騒音やゴミなど、色々と問題が出てきて、住みづらい状況になるかもしれない。

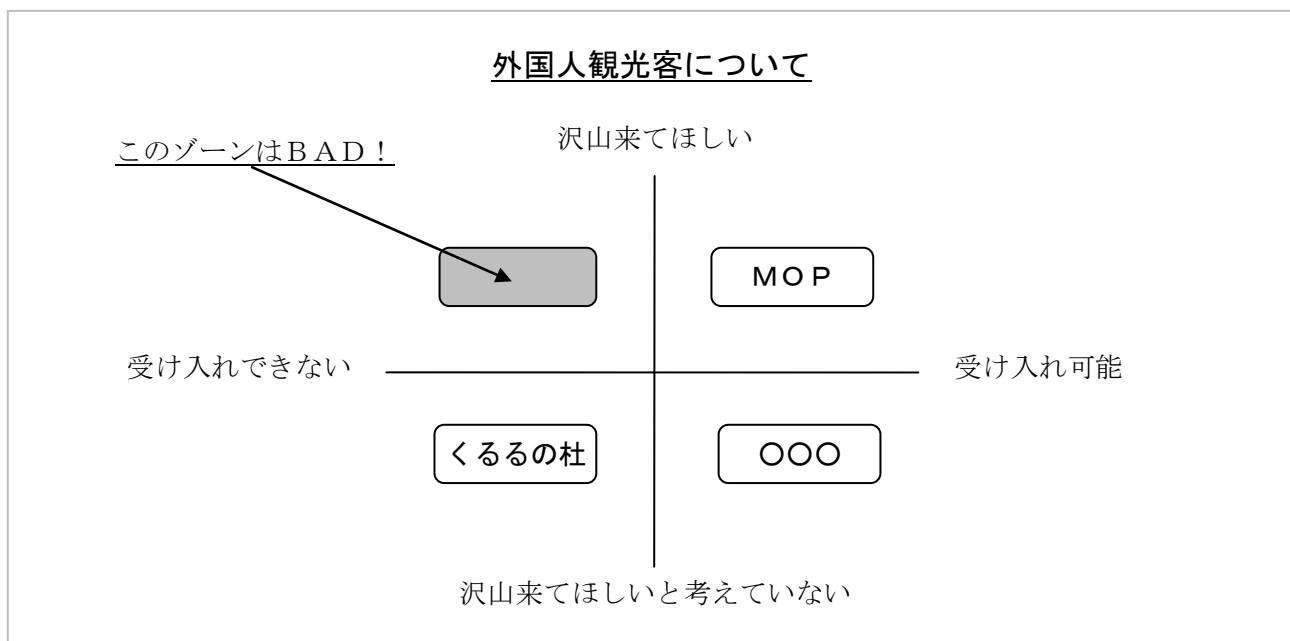
座長) 例えば市内店舗が宣伝するほど、大勢の中国人がやってきて、近所の方が購入できなくなる。そのことで北広島の良いところが、また一つ無くなってしまふ。トレードオフの関係が出てくる。ただ現状の北広島では、大曲・羊ヶ丘通に大勢の方が来ているが、周りは工場等もあり、それほど影響が出ていることにはなっていないようで、北海道では珍しい状況にあると思います。

○委員からの意見

- くるるの杜は海外からはそれほど来ておりません。くるるの杜は、畑のことを知らない都市の方々に作物のできる状況を知ってもらい、身近に感じてもらうことを目的としています。来ていただくのは有り難い状況ですが、こちらから積極的に働きかけるところまではやっておりません。また、御もてなしができる体制となっているのかという点でも難しい状況にあると思います。

座長) 例えば、十字のマトリクスで、①観光客に沢山来てほしい、②沢山きてほしいと考えていない、③体制として受け入れできる、④体制として受け入れできない、という分け方があります。そこで問題

になってくるのが、沢山来てほしいが、体制として受け入れできないというケースです。観光で人を呼び込み、お金を儲けるという発想だけで進んでしまう。また、受け入れ可能であるが、あまり来てほしいと考えていないといったケースについては、何かオーナーとしての考えがあるのか？これが魅力になっていくかもしれない。そして、受け入れ可能なのに、沢山来てほしくないというお店には、価値観や戦略を汲み取った上で、仲間に入ってもらうなど、都市型観光には必要ではないかと思います。北広島は色々なケースが混在していて、幅が広いように感じます。



吉田) 今日知ったことなんですが、市内のそば屋さんから観光パンフレットの問合せがありました。内容としては、MOPさんから外国人の方がそばを食べにくるそうです。また、クラッセホテルに宿泊している外国人の方が東光ストアにいらっしゃったりします。

座長) これからは思ってもみないような動きが益々出てくると思います。NHKでタイ人が行く富士山スポットというのが放送されていました。名も知れない寺で、富士山と寺が写真に上手く入るようで、外国人の観光客が集まっているようです。日本ではそれほど知られていない寺のようなのですが。

○委員からの意見

- 観光客を呼込める体制が整っているところは、外国語の対応ができるなど、パンフレットなどにPRするなどをしていけば、自然と観光客も集まってくると思います。ただ、対応できないからと言って、遮断してしまうこともできないと思います。
- 観光バスにより団体で移動して、皆で同じものを食べるという、東南アジアあたりはまだこのような動きだと思います。台湾や韓国では、団体では行かないようなところを目指して旅行する動きも見えてきています。思いもよらないところに、突然表れるといったことも出てくると思いま

す。言葉が通じなくても、全然気にしない。

- 初音ミクが雪ミクでも人気を集めている。海外の方がネットで調べて日本にやってくる。フランチャイスカも広めていくと、島松駅通所にある日外国人が大勢集まるということが起きるかもしれない。また、映画の一シーンで使われた江ノ電のスポットにも、海外の方が見つけて現地にやってくるようである。北海道にも色々なビューポイントが存在するので、それをネットに流すと良いかもしれません。

座長) バスツーリズムというのがあり、自分が住んでいるように外国でもやっていきたい。タイの人は日本でもタイ語が使えないとダメだと言っている。それとは逆に、相手の国の文化にリスペクトするのを求める。

今までは、観光で人を呼び、お金を落としてもらおう、というのがイメージにあったが、それだけでは今の時代に合ってきていない。メリハリを付けてやっていく必要がある。それができるのが北広島のように感じます。

三笠市に初音町というまちがあります。炭鉱住宅がある。中央バスが撤退し、三笠市営バスが運行していますが、初音町というバス停があります。そこで初音ミクのバス停にしてしまい、バスの車内アナウンスも初音ミクの声に変えてみてはどうか? と思い、市役所に相談しにいったが、実現には至らなかった。

○委員からの意見

- いただいた資料のP 1にある“新ブランドの創出”とういのは、市民としては面白いと思いました。北広島には何もないよ、というご意見もありますが、強く打って出るためには観光協会を設立し、MOPさんに本拠地として活動するなど、既存の観光施設などのより磨き上げるような工夫を行うことが必要だと思います。子どもたちも含め、住民を巻き込むようにして、ブランドづくりを進めていく必要があると思います。
- まちのブランドをコーディネートできれば面白いと思います。色々な要素が存在する中で、それを活かす様なPRができると良いと思う。
- 先ほど市民を巻き込むというお話がありましたが、私は市民大学を卒業しましたが、大学では歴史、農業等について色々なことを調べ、研究しています。ここのメンバーは進んで行っています。資料にある“6温故知新を体感する”とありますが、市民大学について他の方々にはあまり知られていないような気がします。知新の駅という施設はできていますが、あそこだけでやっているようにも見えます。OBの方も色々やってみたいと考えているようなんですが、今のところ知新の駅の案内ボランティアに留まっている状況にあります。
- 様々な情報が一ヶ所で知ることができるようになればと思います。駅で情報が入手できれば良いと思います。
- JRで札幌から新千歳空港に向かう場合、札幌→新千歳空港(1,070円)より札幌→北広島(450円)＋北広島→新千歳空港(590円)として、北広島で乗り換えた方が運賃として安くなります。

吉田) 市民大学も今年で5周年を迎えます。まち歩きボランティアというのをイメージして、スタートしたのですが、観光とドッキングできるようなところもあるので、繋げていけないかとは思いますが。バスで市内を巡るというケースでは、市民大学の方に案内いただくということもできると思います。ただ、市民大学の方は歴史には強いですが、現在のまちの状況については、少々弱いところもあります。まちの魅力を伝えるには歴史以外の部分にも触れていかなければならないと思います。

また、駅に観光案内所があれば良いとは思いますが、本当に駅にあった方が良いのか？という議論も必要だと思います。情報の発信拠点としては、エルフィンパーク内に何かあった方が良くと思います。

座長) ブランドは思い入れと発想、そして価値観というのが必要だと思います。メールによるご意見のイメージが良いというのは、メンバーの価値観が入っているからだだと思います。ブランドを創るとなると何かアクティブなことを行う必要が出てくると思います。

また、駅の情報発信ですが、もしあっても北広島駅に下車しない。中々降りない。莫大な人数が毎日通過しているのですが。例えばJRにお金を払って、毎日、「本日、北広島では〇〇が行われてる・・・」などのアナウンスをしてもらおうとか。

吉田) 北広島に輪厚があることが分かっていない。輪厚と北広島が結びついていない。例えば、これらの看板でPRするとか。お話のとおり、毎日多くの方が通過されている。北広島駅に停車している間、多くの方が目にするように、何かPRすることも必要ではないかと思えます。降りるための動機付けができ、実際に行動してもらおうような取り組みが出来てない。北広島で降りても何があるのかが分からない状況にある。

座長) さて、色々のご意見をいただいたところですが、今回、事務局が纏めた資料は、意見を丁寧に整理した形となっております。そこに命となるものを吹き込むのは、協議会の皆さんのお仕事となる訳です。そこで行政マンらしくない発想として吉田さんのご意見がありました。 “普段使いの観光” というコンセプトは面白いと思えます。

また、今回だめでも次に来ってもらうために何かできないか？ “次を狙う観光”。このような戦略もありだと思えます。その次に来ってもらうために何をうたえていけば良いのかを考える、また、何を素材すれば良いかを検討する。そしてこれをチェックする時に、これは儲けるために行うのか？ 或いは移住・定住を切欠として行うのか、市民が気づくようなことなのか？ といったことをチェック項目として整理してみる。

先ほど話がありましたがJRに乗車している人を下車させるなど。

○委員からの意見

- JRにあるエルフィンロードという看板のようなもので何かうたえるようなものはどうでしょうか。少しきれいな感じで車窓から見ると良いと思う。1回目では分からなくても、2回目

何だろうなと思ってもらえるかもしれない。

座長) NPOの仲間が毎日JRで出勤している方がいて、岩見沢への特急に乗った際に、江別を過ぎたところに公園があり、毎回写真に収めていた。それが何百枚も貯まってきて、それがスライドショーのようになった。雪景色だったものが、段々解けて無くなっていくなど。日常的に北広島を通過している人が多くいると思いますが、変わっていく景色で何か表現ができないか。国道36号を車で走っている人とは何か違うとは思いますが。

吉田) JR沿線、国道36号、国道274号は一緒に視点を観光を進めるのは難しいと思います。

○委員からの意見

- JRを千歳方面から来ると島松過ぎで北広島に入ると景色が急に変わります。北海道らしい景色ですね。札幌から来ると野幌あたりもそれ程景色が良いとは思えない。ただ、エルフィンロードの近くになると景色が良くなる。ここから北広島に入りました、といった標識もないのがありますが、ファーストインスピレーションで、ここはきれいなまちだというイメージを持たせることも工夫をすればできるような気がします。北広島に入ると急に景色が良くなるので、そこは売りだと思えます。
- 以前、お話しが出ていましたが、輪厚の夕日の話が印象深いです。
- MOPから輪厚に向かう途中で、何てことない平地の道なすですが、山が見えて綺麗です。

座長) 沢山のご意見が出ている状況で、これにどのような味付けをしていくか？味噌、塩、しょう油など、色々ありますが、何味にしようか？という目処を付けなければならないと思います。これは味噌には合わないなど、色々出てくると思います。

手がかりになるキーワード、コンセプトとなるとと思いますが、それを申し少し、鮮明に打ち出していければと思います。

○委員からの意見

- このまま行くと既存の観光協会とは一緒にならないまま、スタートするのか？

吉田) ここの協議会で都市型観光について、一定の考え方、方向性が決まっていけば、観光協会と一緒にできよう観光事業を行っていきたい。そしてもっと踏み込んで観光を進めていくということであれば、観光協会だけでなく、商工会、エコミュージアム等などの団体も巻き込んでいかなければならいと考えております。その切欠となるものをここの協議会で生み出したいと考えております。

座長)「こんな面白いことができます、皆さん一緒にやってみませんか?といったものを作ることで、北広島はすごい、面白いと思ってもらえますよ」といった内容のものを作っていきたい。当然、そのためには、このような仕組みが必要であるということも出てくると思います。

ただあまり多くのもを作ると大変なことになるので、いくつか絞り、せいぜい多くて10個、できれば5個くらいまでに納まれば良いと思います。

○委員からの意見

- 羊蹄山のここから写真を撮るときれいに撮影できます。というポイントを紹介しています。北広のきれいな景色が撮れるところを、MOPさんで紹介するというのはいかがでしょうか。
- 撮影の話していきますと撮り鉄にとって北広島はとても良いポイントがあるとのことのように。夕日であっても、夏や冬でも違って見える。
- クラッセホテルさんの景色の眺望の素晴らしいと思う。
- クラッセホテルさんの景色は500円を取っても良いと思う。

座長) 500円を払って景色を見た後に、ソフトクリームが出されるなど、思っても見ないことがあるというのも面白い。

こちらで5~6本くらいの戦略を立てていきたいと思っています。戦略的にやるコンセプトを考えていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

3. 閉会